

令和2年度事業報告

(令和2年4月1日—令和3年3月31日)

I. 会員数 (令和3年3月31日)

(1) 名誉会員

令和2年3月31日会員数	5名	
名誉会員現在数	4名	(1名減)

(2) 正会員

令和2年3月31日会員数	939名	
令和2年度新入会員数	65名	
令和2年度退会者数	82名	
内訳	希望退会者	79名
	物故者	3名
正会員現在数	922名	(17名減)

(3) 維持会員

令和2年3月31日維持会員数	92社	
令和2年度入会社数	2社	
令和2年度退会社数	2社	
維持会員現在数	92社	(増減0)

II. 第67回通常総会

開催年月日： 令和2年5月26日

開催場所： (公社)日本実験動物学会事務局

III. 理事会、理事・評議員懇談会

(1) 理事会 4回開催

- ① 第1回 開催年月日： 令和2年5月1日
開催場所： 書面審議
- ② 第2回 開催年月日： 令和2年5月26日
開催場所： オンライン開催
- ③ 第3回 開催年月日： 令和2年11月24日
開催場所： オンライン開催
- ④ 第4回 開催年月日： 令和3年3月9日
開催場所： オンライン開催

IV. 定期学術集会の開催

第67回日本実験動物学会総会を下記のとおり開催した。

- 会期：令和2年5月23日（土）～25日（月）
 会場：誌上開催
 会長：塩谷恭子（国立循環器病研究センター研究所）

V. 定期刊行物の発行

「Experimental Animals」および「実験動物ニュース」を下記のとおり発行し、会員に配信した。

発行年月日	巻	号	備考
2020年4月1日	69	2	
2020年7月1日	69	3	
2020年8月1日	69	Supplement	(Proceedings of the 67th JALAS Conference)
2020年10月1日	69	4	
2021年1月1日	70	1	

VI. 研究の奨励、業績の表彰

- (1) 令和2年度功労賞、安東・田嶋賞、奨励賞、2019年 Experimental Animals 最優秀論文賞、2019年日本実験動物学会国際賞の授与は令和3年度に延期した。
- (2) 令和3年度学会賞受賞者を選考した。
 - 1) 功労賞（2名、五十音順）
 - 浦野 徹 会員（生理学研究所）
 - 八神 健一 会員（筑波大学）
 - 2) 安東・田嶋賞（1名）
 - 伊川 正人 会員（大阪大学）
 - 「遺伝子改変マウス作製技術の開発と生殖生物学研究への応用」
 - 3) 奨励賞（1名、五十音順）
 - 佐々木 隼人 会員（北里大学）
 - 「発生工学・遺伝学的アプローチを駆使したマルチドメインタンパク Tensin2 の機能解析」
 - 4) 2020年 Experimental Animals 最優秀論文賞（1編）
 - 菅沼栄介、佐藤 智、本田聡子、中澤温子
 - A novel mouse model of coronary stenosis mimicking Kawasaki disease induced by *Lactobacillus casei* cell wall extract
 - 「*Lactobacillus casei* cell wall extract により誘導した川崎病冠動脈狭窄の新規モデル」

ルマウス」」

VII. 研究・調査活動

編集委員会、学術集会委員会、財務特別委員会、国際交流委員会、広報・情報公開検討委員会、動物福祉・倫理委員会、定款・細則・規定等検討委員会、実験動物感染症対策委員会、教育研修委員会、実験動物管理者研修制度委員会、人材育成委員会、将来検討委員会、動愛法等対策委員会、外部検証委員会を設置し、活動を行った。

VIII. 動物実験に関する外部検証

令和 2 年度動物実験に関する外部検証事業として 17 機関（国立大学 3 機関、公私立大学 12 機関、文部科学省所轄外 2 機関）の外部検証を実施した。（外部検証委員会担当）

IX. 外部検証のための人材育成

ナショナルバイオリソースプロジェクト「外部検証促進のための人材育成」課題を推進し、国動協、公私動協及び日本実験動物学会から推薦された外部検証専門員候補者 28 名が外部検証促進のための人材育成講習会を受講した。

X. 関連学協会との連携

- (1) 日本学術会議、生物科学学会連合及び動物実験関係者連絡協議会の活動に協力した。
- (2) 国内の関連学会・協会との学術・情報交換を進め、その活動に協力した。
- (3) 国際実験動物科学会議（ICLAS）及びアジア実験動物学会連合（AFLAS）における活動を継続した。
- (4) 米国実験動物学会（AALAS）など、海外関連学協会との学術・情報交流を推進した。
- (5) 公益財団法人実験動物中央研究所 ICLAS モニタリングセンターおよび日本動物実験代替法評価センター（JaCVAM）など実験動物・動物実験に携わる機関の活動に協力した。

XI. その他

- (1) 維持会員 EXPO2020 を実施した。（財務特別委員会担当）
令和 3 年 1 月 20 日から本学会ホームページ上で開催
- (2) 第 9 回実験動物科学シンポジウムは令和 3 年度に延期した。（学術集会委員会担当）
「創薬研究のためのヒト化動物最前線」
- (3) 第 14 回実験動物管理者等研修会を開催した。（実験動物管理者研修制度委員会担当）
令和 3 年 3 月 15-31 日 オンライン開催（オンデマンド配信）
参加者合計：219 名（会員 54 名、維持会員団体職員 48 名、非会員 117 名）
- (4) 動物実験の外部検証：令和 3 年度の実施準備に向けた事前説明会を開催した。（人材

育成委員会担当)

令和 3 年 1 月 24 日 神田一橋講堂及びオンライン開催

参加合計：169 機関、387 名

(5) 第 70 回日本実験動物学会総会の大会長を選出し開催概要を決定した。

会 期：令和 5 年 5 月 24 - 26 日 (予定)

会 場：つくば国際会議場 (つくば市) (予定)

大会長：杉山文博 (筑波大学)